

■部会 Report

環境部会の活動紹介

—2010年度の活動計画—

日本風力発電協会 理事／環境部会長 **鈴木 章弘**
株式会社風力エネルギー研究所

はじめに

環境部会は、2009年春の風力発電事業者懇話会との新団体設立に伴い、企画部会が「政策部会」と「環境部会」に分割されて設置されました。平成22年度活動計画の概要については5月の社員総会で承認をいただいておりますが、詳細な内容は部会活動の中で改めて検討しております。なお各事業の実施については、事業内容やその重要度に応じて、理事会等の承認を得た上で実行することになります。

2010年度の活動計画

(1) 環境に関わる政策提言

環境影響評価制度、鳥類を初めとする野生生物への影響調査、騒音に関する調査及び規制など、風力発電の環境影響に関わる政策に関して、業界団体として積極的に提言を行います。

(2) 環境影響評価（自主）マニュアル

環境影響評価の標準的な手順を定めるマニュアルをJWPA独自の文書として早期に策定します。また、同マニュアルの実際のプロジェクトへの適用を進めます。

また、自主マニュアルの策定と平行して、法律に基づく環境影響評価の対象に風力発電が加えられる方向性が示されていますので、その対応も政策部会と共同で行います。その中には戦略的アセスメント（SEA）の導入も含まれていることから、主として民間事業である風力発電事業の特性を踏まえた制度となるよう、環境省などへの働きかけを行う考えです。

(3) 風力発電に関する情報提供

政策部会、系統部会等と協力して、温室効果ガス削減効果等、風力発電の環境効果に関する情報や、電力系統への影響、騒音、バードストライクなどの環境影響に関する正しい情報を、会員各位だけではなく、広く社会に対して継続的に提供することを目指します。

国の委員会などJWPAが参加している審議内容に関する情報を、会員に適切かつタイムリー

に提供する仕組みを整えます。また、環境影響評価に関する事項などの技術的な情報を、広く会員に提供する仕組みを整えます。

これらの情報提供は、マスコミに対しても行いますが、さらにJWPA会員を対象として専用ウェブサイトや電子メールなど、既存の情報伝達メディアも最大限に活用して行います。

必要に応じてJWPA会員を対象としたセミナーを開催します。

(4) 他団体との協調

国内外の環境保護団体と協調して、風力発電の環境効果及び影響を正しく評価し、社会に伝えることを目的として、そうした団体との連携を強化することを目指します。

(5) ワーキンググループ（WG）の設置

部会の下部組織としてテーマに応じたワーキンググループを設置します。

既に「風況WG（谷垣三之介リーダー）」の活動が開始されています。

2010年度の第1回部会

2010年7月13日に第1回の部会を開催し、有志による懇親会も実施しました。

部会では、これまでのJWPA企画部会および風力発電事業者懇話会での活動状況について報告していただくと共に、今年度の活動内容について、自由に意見を交換する場を設けました。

前述の方針に沿って、今年度の主要なテーマとして下記があげられました。

- (1) 騒音・低周波音対策と情報提供
- (2) 環境影響評価法への対応
- (3) 環境アセスメント自主マニュアル策定
- (4) 風力発電Q&A集の作成
- (5) 風力発電普及に向けた情報戦略
- (6) 景観ガイドラインへの対応

なお、部会員の募集は引き続き行っておりますので、環境関連の業務に携わっている方など、積極的に活動に参加していただける方の加入をお待ちしております。